

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
桑員地域	桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町・桑名広域清掃事業組合	平成24年度～平成28年度	平成24年度～平成28年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 22 年度)	目標 (割合※1) (平成 29 年度) A	実績 (割合※1) (平成 29 年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	15,851t	15,503t (△2.2%)	17,982t (13.4%)	16.0%
	1事業所当たりの排出量	0.7t	0.7t (0.0%)	1.0t (42.9%)	42.9%
	家庭系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	11,146t (15.7%)	11,038t (15.8%)	6,053t (8.9%)	△45.2%
	総資源化量	43,703t (60.7%)	43,951t (61.5%)	38,048t (55.1%)	△13.4%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	%
減量化量	中間処理による減量化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※ 目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 22 年度)	目 標 (平成 29 年度) A	実 績 (平成 29 年度) B	実績B /目標A	
総人口	142,236	143,019	142,791	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	95,045	104,564	103,579	99.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	66.8%	73.1%	72.5%	99.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2,337	2,087	2,085	99.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	15,551	18,215	18,149	99.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
未処理人口	汚水衛生未処理人口	29,303	18,153	18,978	104.5%

※ 目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

(ごみ処理)

### ○排出量（事業系）

事業系の総排出量及び1事業所当たりの排出量につきましては、共に目標を達成できませんでしたが、これは、大型ショッピングセンターのオープンや道路新設工事関係の事業所の影響によるものと思われまます。また、景気回復により事業所数が平成29年度実績は平成22年度から約300増加しており、事業活動が活発になったことも原因として考えられます。

### ○再生利用量

目標を達成できなかった要因としましては、スーパーやドラッグストア等の事業所独自のリサイクルボックスの設置や民間回収業者による無料回収所などによる回収が進んだことによるものと考えています。

(生活排水処理)

循環型社会形成推進地域計画（平成23年度～平成28年度）において目標が達成できなかった要因としましては、公共下水道における認可区域の拡大、公共下水道・農業集落排水への接続の伸び悩み、単独処理浄化槽・くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換数の減少及び新築・改築等に伴う合併処理浄化槽設置者への補助金廃止等が要因となり、目標が達成できなかったと考えられます。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成33年度まで（第3期地域計画期間）

(ごみ処理)

### ○排出量（事業系）

総排出量については、上記の要因に記載しましたとおりです。また、1事業所当たりの排出量1.0tは、この第2期地域計画を踏襲した第3期地域計画の目標(平成34年度)1.8tを下回っており、今後も事業所に対しても減量・分別の指導を行っていくとともに、事業所数の分析をした上で、必要に応じて第3期地域計画の目標値の見直しを行っていきます。

### ○再生利用量

近年の再生利用量の減少につきましては、一般家庭、事業所ともに行政機関の設置する資源回収所以外のスーパーやドラッグストアのリサイクルボックスや民間回収業者による無料回収所などによる回収が進んだことによるものと考えられますことから、現状把握に努めまして必要に応じて第3期地域計画の目標値の見直しを行っていきます。また、住民に十分浸透していないと思われまます容器包装や小型家電を含めた資源全体の回収を向上させるため、市・町・組合が広報やホームページなどを通じて啓発を行っていきます。

(生活排水処理)

目標達成に向けた方策としては、公共下水道の認可区域及び整備区域が拡大されていくなか、公共下水道への接続指導及び単独処理浄化槽・くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換案内について、個別訪問を継続的に実施するとともに、市ホームページや市広報などを活用しながら、普及啓発に努めていきます。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

循環型社会形成推進地域計画の目標達成に向けて、事業系ごみ減少に向けて減量や分別啓発の周知徹底を進めることが望まれます。また、再生利用量増加のため市民・事業者への分別方法等の周知を確実に進めることが望まれます。特に容器包装や小型家電など資源回収の取組が浸透していないと思われる品目については一層の啓発の実施や回収促進の取組が望まれます。

県としても、目標達成のために必要に応じて、情報提供や助言等の支援を行います。

(生活排水処理)

桑名市は公共下水道及び合併処理浄化槽の整備を着実に進めてきていますので、引き続き整備を進め、汚水衛生未処理人口の目標達成に向けて取り組んでいただきたい。